

第50回日本血液事業学会総会プログラム ＜指定演題＞

SP1

特別企画 1

第1日目：10月6日（火）9：00～10：30 第1会場

ブロック所長推薦優秀演題

座長：笹原 洋二（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

SP1-1 赤血球1単位製剤使用促進のための取り組み

中川実咲季（北海道赤十字血液センター）

SP1-2 献血現場におけるポータブルエコーを用いた血管評価の有用性—穿刺難易度と疼痛評価から—

藤原 愛永（秋田県赤十字血液センター）

SP1-3 千葉センターにおける認定インタビュアーの運用とVVR発生率低減の検討～活動の場の拡大を目指して

大竹 真央（千葉県赤十字血液センター）

SP1-4 将来の献血基盤の構築に係る全国都市教育長協議会への献血推進

竹内 教浩（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SP1-5 健康経営に基づいた職場環境改善の継続報告—対人関係の質的向上と心理的資本の強化を目指して—

鱈 綾音（奈良県赤十字血液センター）

SP1-6 【一撃必中】二度手間は許さない！RPAでWEB予約システム構築

小山龍太郎（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

SP1-7 働きやすさから働きがいへ～持続可能な職場を目指して～

横田 里菜（熊本県赤十字血液センター）

SP2

特別企画 2

第 1 日目：10 月 6 日（火）15：30～17：00 第 1 会場

改善活動血液事業本部長賞候補演題

座長：藤田 秀行（日本赤十字社血液事業本部）

松崎 浩史（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

SP2-1 改善活動の本質へのアプローチ～その業務やめられる？～

鳥谷部麻里（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SP2-2 学生クリエイターとつくる！若年層に届く献血デザイン

藤倉 倫代（徳島県赤十字血液センター）

SP2-3 移動採血出発前の業務手順見直しによる時間外の短縮～ワークライフバランスの実現を目指して～

上小手美聡（熊本県赤十字血液センター）

SP2-4 採血課ブラッシュアップの成果～血液センター看護師の職務を遂行するためのマインドセット～

小林 千春（群馬県赤十字血液センター）

SP2-5 製剤部門におけるメンター制度導入プロジェクト～新規職員の定着率向上に向けて～

青山 諒子（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SP2-6 Toward 2045！検査室から飛び出せ！血液型検査体験キットによる子ども向け献血啓発活動

北崎 英晃（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SP2-7 献血者の安全とスタッフの効率化を目指して～動画活用で変える採血現場～

田辺みきよ（福井県赤十字血液センター）

SP2-8 資材室管理における先入れ先出し機構と視覚的に明確なロケーション管理体制の構築

矢野 幹彦（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SP3

特別企画 3

第 1 日目：10 月 6 日（火）17：10～17：50 第 1 会場

血液事業本部長講演

座長：岡崎 仁（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

血液事業のサステナビリティを考える

紀野 修一（日本赤十字社血液事業本部）

SP4

特別企画 4

第2日目：10月7日（水）14：20～15：20 第1会場

社長講演

座長：鳥本 悦宏（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

150年のその先に向けて

清家 篤（日本赤十字社）

SL1

特別講演 1

第 1 日目：10 月 6 日（火）10：40～11：40 第 1 会場

北海道ボールパーク F ビレッジ～未来への挑戦～

演者：川村 裕樹（北広島市役所）

座長：池田千絵子（日本赤十字社血液事業本部）

SL2

特別講演 2

第 1 日目：10 月 6 日（火）13：10～14：10 第 1 会場

ヒグマを知ろう：北海道のヒグマ個体数推定と管理

演者：間野 勉（北海道立総合研究機構）

座長：木下 透（北海道赤十字血液センター）

SL3

特別講演 3

第 1 日目：10 月 6 日（火）14：20～15：20 第 1 会場

人工知能の未来 ChatGPT を超えて

演者：川村 秀憲（北海道大学大学院情報科学研究院）

座長：細野 晃（大阪府赤十字血液センター）

SL4

特別講演 4

第 2 日目：10 月 7 日（水）9：00～10：00 第 1 会場

リスクコントロールとクライシスマネジメント

演者：南須原康行（北海道大学病院）

座長：牧野 茂義（東京都赤十字血液センター）

SL5

特別講演 5

第 2 日目：10 月 7 日（水）10：30～11：30 第 1 会場

iPS 細胞が切りひらく未来 基礎研究から臨床応用の最前線

演者：江藤 浩之（京都大学 iPS 細胞研究所）

座長：木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SL6

特別講演 6

第2日目：10月7日（水）16：40～17：40 第1会場

副社長講演

座長：木下 朝博（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

これからの血液事業～2045年を見据えた基盤構築に向けて
鈴木 俊彦（日本赤十字社）

SL7

特別講演 7

第3日目：10月8日（木）9：00～10：00 第1会場

クルーズ船でのDMAT活動経験により得られた今後の課題～未知のウイルスにより現場に生じたジレンマ～

演者：源平 雄大（小田原市立総合医療センター）

座長：川口 泉（広島県赤十字血液センター）

SL8

特別講演 8

第3日目：10月8日（木）10：30～11：30 第1会場

捕手目線から見た勝ち続けるチーム～19年間のプロ野球選手生活を経て～

演者：鶴岡 慎也（元北海道日本ハムファイターズ・福岡ソフトバンクホークス捕手、野球解説者）

司会：瀬上 紘行（HBCアナウンサー）

EL1

教育講演 1

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 9 : 10 ~ 10 : 10 第 2 会場

B 型肝炎診療の最前線 : functional cure を目指して

演者 : 田中 靖人 (熊本大学消化器内科学)

座長 : 安村 敏 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

EL2

教育講演 2

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 10 : 50 ~ 11 : 50 第 2 会場

人が創る品質を目指し—不正事案から何を学び今後はどう生かすか—

演者 : 脇坂 盛雄 (ミノファーマーゲン製薬)

座長 : 栗木原修治 (日本赤十字社中四国ブロック血液センター)

EL3

教育講演 3

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 13 : 10 ~ 14 : 10 第 2 会場

なぜ記録の正確性が命に繋がるのか—誠実な製造・試験を証明する「気遣い」と品質文化—

演者 : 田中 良一 (株式会社シーエムプラス)

座長 : 猿渡 真理 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

EL4

教育講演 4

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 14 : 20 ~ 15 : 20 第 2 会場

緊急時の血小板輸血の最適解を考える—冷蔵血小板製剤の臨床的インパクト

演者 : 宮田 茂樹 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

座長 : 山本 晃士 (愛知県赤十字血液センター)

EL5

教育講演 5

第1日目：10月6日（火）15：30～16：30 第2会場

大きな方向性と現場のリアル～組織運営と人材をいま一度考える

座長：熊川みどり（福岡県赤十字血液センター）

EL5-1 国際赤十字における女性リーダー育成を促すネットワーク：GLOW Redの歩みと取り組み

宮本 有理（日本赤十字社）

EL5-2 血液事業における組織運営と人材育成の現在地

牛田 順子（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

EL6

教育講演 6

第1日目：10月6日（火）17：00～18：00 第2会場

現場ではこう使われている—看護師が守る輸血医療の安全と実際—

演者：齊藤 千里（済生会横浜市東部病院）

座長：根本真理子（神奈川県赤十字血液センター）

EL7

教育講演 7

第2日目：10月7日（水）9：00～10：00 第2会場

ケアリングの文化によるしなやかな組織の形成

演者：荒木 香織（株式会社CORAZON、順天堂大学スポーツ健康科学部）

座長：金桶 陽（日本赤十字社血液事業本部）

EL8

教育講演 8

第2日目：10月7日（水）10：20～11：20 第2会場

今の時代に求められるコミュニケーションとは～信頼される職員には理由がある～

演者：松前 葉子（株式会社シードプロ）

座長：長野 一昭（奈良県赤十字血液センター）

EL9

教育講演 9

第2日目：10月7日（水）15：30～16：30 第2会場

なくならない過誤～どこに問題が？

演者：入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

座長：奥田 誠（日本赤十字社血液事業本部）

EL10

教育講演 10

第2日目：10月7日（水）16：40～17：40 第2会場

基礎から学ぶ―輸血および造血幹細胞移植の実際―

演者：佐藤 智彦（東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部）

座長：松下 正（日本赤十字社血液事業本部）

EL11

教育講演 11

第3日目：10月8日（木）9：30～10：30 第2会場

造血器腫瘍に対するがん遺伝子パネル検査の臨床実装と今後の展開

演者：小野澤真弘（北海道大学病院）

座長：柏木 浩和（大阪府赤十字血液センター）

EL12

教育講演 12

第3日目：10月8日（木）10：40～11：40 第2会場

献血ドナーにおける VVR 発症リスク因子

演者：羽藤 高明（愛媛県赤十字血液センター）

座長：大久保理恵（神奈川県赤十字血液センター）

SY1

シンポジウム 1

第1日目：10月6日（火）9：10～10：20 第3会場

つながる力—部門を超えた協働の未来—

座長：佐藤奈穂子（宮城県赤十字血液センター）

成田利恵子（大阪府赤十字血液センター）

SY1-1 つながる力で切り拓く血液事業の未来

金桶 陽（日本赤十字社血液事業本部）

SY1-2 将来の血液事業を見据えた一体感の実現に向けて

富山 努（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SY1-3 施設間並びに部門間の連携による献血血液確保について

内村 聡志（佐賀県赤十字血液センター）

SY1-4 一人で頑張らない献血啓発～多部門協働で実現した体験型セミナーと講師育成の取り組み～

駒田 皇（愛知県赤十字血液センター）

SY2

シンポジウム 2

第1日目：10月6日（火）13：10～14：40 第5会場

学校献血体験から未来へ続く献血～若者への新たなアプローチ～

座長：永井 正（栃木県赤十字血液センター）

鹿野 千治（日本赤十字社血液事業本部）

SY2-1 学域献血におけるラブラッドを活用した取り組みについて

尾西 桃香（北海道赤十字血液センター）

SY2-2 高校献血の現状と課題

小杉 誠（栃木県赤十字血液センター）

SY2-3 福岡センターでの高校献血推進の取り組み

山本 玄輝（福岡県赤十字血液センター）

SY2-4 高校献血の強化に向けた血液事業本部の取り組み

佐野美紗子（日本赤十字社血液事業本部）

SY3

シンポジウム 3

第 1 日目：10 月 6 日（火）16：00～18：00 第 6 会場

Quality Culture 醸成のキー—ルール遵守から“考えて行動する品質へ”—

座長：宮作 麻子（日本赤十字社血液事業本部）

川島 航（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SY3-1 Quality Culture 醸成のキー—ルール遵守から“考えて行動する品質”へ～

櫻井 信豪（東京理科大学薬学部医薬品等品質・GMP 講座）

SY3-2 ロート製薬における品質文化醸成活動の取り組み

藤田 朋子（ロート製薬株式会社）

SY3-3 Quality Culture 醸成はどのように前に進むのか—当社の探索経験で描いた地図

久原 僚介（KM バイオロジクス株式会社）

宮崎さなえ（KM バイオロジクス株式会社）

SY3-4 Quality Culture 醸成への血液事業本部の取り組み

助川 徹（日本赤十字社血液事業本部）

SY4

シンポジウム 4

第 2 日目：10 月 7 日（水）9：00～10：00 第 3 会場

血液事業の過去を振り返る（北海道輸血シンポジウム共催）

座長：紀野 修一（日本赤十字社血液事業本部）

SY4-1 輸血医療・血液事業の歩み 血液法の求める安全な輸血療法の推進

高橋 孝喜（日本赤十字社）

SY4-2 血液事業の過去を振り返る（技術分野）

佐竹 正博（日本赤十字社）

SY4-3 輸血医療・血液事業の歩み 血液事業の組織統合；都道府県単位から広域運営体制の移行
と今後の課題

高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SY5

シンポジウム 5

第2日目：10月7日（水）10：20～11：50 第3会場

細菌 SC 導入後の報告

座長：杉山 朋邦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

田村 智子（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SY5-1 細菌SC導入により影響を受けた地域センター供給業務等について
大城戸秀樹（東京都赤十字血液センター）SY5-2 細菌スクリーニング導入前後の取り組みについて
石井 武志（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）SY5-3 血小板製剤の凝集塊低減に向けた取り組み
梅田 浩介（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）SY5-4 血小板製剤細菌スクリーニング導入1年間の細菌検出状況と得られた知見—細菌同定検査
実施施設の立場から—
松本 真実（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

SY6

シンポジウム 6

第2日目：10月7日（水）15：30～17：00 第3会場

新時代に応える血液事業のかたち—日本赤十字社血液事業本部事業戦略室から今後の方向性の紹介—

座長：藤田 秀行（日本赤十字社血液事業本部）

SY6-1 日本赤十字社血液事業本部事業戦略室のこれまでの取り組みとこれから
荒川 祥吾（日本赤十字社血液事業本部）SY6-2 「Toward 2045 変わるぞ、血液事業」 —あなたの仕事を変える献血基盤とは—
石川美菜子（日本赤十字社血液事業本部）SY6-3 「Toward 2045 変わるぞ、血液事業」 —製造品目を整理して現場の負担を減そう—製造所
の全国的な役割分担
永井 猛（日本赤十字社血液事業本部）SY6-4 Dスキルの前にXスキルだ！—東北ブロックにおけるDX推進の取り組み—
永井 猛（日本赤十字社血液事業本部）
高橋 初美（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

SY7

シンポジウム 7

第3日目：10月8日（木）9：00～10：30 第4会場

いざ検査変革の時—検査項目の見直しの可能性を探る—

座長：後藤 直子（日本赤十字社血液事業本部）

坂本 賢一（日本赤十字社血液事業本部）

SY7-1 次世代シーケンシング（NGS）技術の導入と課題

高橋 大輔（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

SY7-2 製品検査の見直しは可能なのか？

三浦 邦彦（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SY7-3 ALT 値に基づく製品除外基準および脂質検査項目の見直しの必要性について

小林 悠（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

SY7-4 HBV スクリーニングにおける HBs 抗原検査は必要か？

坂田 秀勝（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

SY8

シンポジウム 8

第3日目：10月8日（木）10：10～11：40 第3会場

医療機関との壁を壊す！～医薬情報担当者の取り組み

座長：松井 宏文（日本赤十字社血液事業本部）

冨田 守清（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SY8-1 医療機関の壁に対する岐阜センターの取り組み

和田 美奈（岐阜県赤十字血液センター）

SY8-2 「患者ファーストの輸血医療」を実現するために～医療機関と血液センターが ONE TEAM になるための取り組み～

志村 卓哉（神奈川県赤十字血液センター）

SY8-3 「壁」を壊せる次世代 MR の人材育成

熊本 誠（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

SY8-4 輸血用血液製剤における医薬情報活動の体制強化の検討～医療機関とのより良い連携を目指して～

松井 宏文（日本赤十字社血液事業本部）

WS1

ワークショップ 1

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 9 : 10 ~ 11 : 00 第 6 会場

日赤薬剤師会共催—災害時における営業所管理者の役割

座長 : 中村 定生 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

曾篠 恭裕 (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所災害救援技術部門 / 熊本赤十字病院国際医療救援部 / 日本赤十字社人道研究センター)

WS1-1 酷暑・極寒期の大規模災害を想定内とするために

根本 昌宏 (日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター)

WS1-2 東日本大震災を経験した宮城県赤十字血液センター販売部門が振り返る当時の災害対応と今後の備え

築館 和良 (宮城県赤十字血液センター)

WS1-3 不測の事態発生時における情報共有と初動対応および血液製剤の適否判断～車両事故事例を踏まえて～

松原 美紀 (福井県赤十字血液センター)

WS1-4 災害時の血液製剤の安定供給を支える現場対応—医薬品営業所管理者アンケートによる考察—

手島 貴也 (長崎県赤十字血液センター)

特別発言 社会課題の解決を通じた災害対策の推進～血液事業における現場の課題と災害対策の共通解～

曾篠 恭裕 (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 / 熊本赤十字病院国際医療救援部 / 日本赤十字社人道研究センター)

WS2

ワークショップ 2

第1日目：10月6日（火）10：40～11：50 第3会場

看護師教育の変遷

座長：六本木由美（日本赤十字社血液事業本部）

荒木あゆみ（北海道赤十字血液センター）

WS2-1 教育環境の均質化と教育システム構築に向けて
岸本 君恵（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）WS2-2 ラダーと階層別研修の連動による教育効果の検証
竹内えつ子（群馬県赤十字血液センター）WS2-3 教育体制の見直しによる効果と課題
庭野美代子（新潟県赤十字血液センター）WS2-4 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講による次世代を担う管理者の育成
福部 純子（広島県赤十字血液センター）

WS3

ワークショップ 3

第1日目：10月6日（火）13：10～14：20 第4会場

離島または自然災害時における供給体制について

座長：仲 香（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

脇谷 勇次（宮城県赤十字血液センター）

WS3-1 沖縄県における災害等における体制整備の取り組み
平良 和彦（沖縄県赤十字血液センター）WS3-2 東日本大震災の経験から学ぶ危機的状況発生時に備えた血液供給体制構築への課題
渡邊 範彦（福島県赤十字血液センター）WS3-3 九州ブロックにおける豪雨災害時の搬送体制
浅尾 洋次（福岡県赤十字血液センター）WS3-4 東海北陸ブロックにおける災害対応等への取組について
鬼頭 勇一（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

WS4

ワークショップ 4

第1日目：10月6日（火）14：30～15：50 第4会場

安全運転への取り組み—交通事故ゼロに向けて—

座長：鶴間 和幸（日本赤十字社血液事業本部）

細井 正弘（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS4-1 DRIVE CHART を運用した事故削減—運転の癖「リスク運転」の改善—

中道 雅志（千葉県赤十字血液センター）

WS4-2 車両事故発生防止・低減を目的とした緊急走行に関する研修プログラムの導入

窪田 英孝（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS4-3 ドライブチャートを活用した安全運転の意識醸成

古俣 妙（新潟県赤十字血液センター）

WS4-4 車両事故の現状及び事故防止に向けた今後の取り組み

金井 慶一（日本赤十字社血液事業本部）

WS5

ワークショップ 5

第1日目：10月6日（火）14：50～16：10 第5会場

Toward! 2045 北海道発・U35 が語る未来型働き方

座長：皆川 信也（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

館石 尚広（北海道赤十字血液センター）

WS5-1 品質部門の将来像～DXと明文化により人手不足でも持続可能に～

木谷紗祐梨（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS5-2 総務部門の将来像～育児休業を取得しやすい職場環境のあり方～

金塚 盛（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS5-3 事業部門の将来像～指定血要請業務とデータ分析の観点から～

越田圭一郎（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS5-4 製造部門の将来像～デジタル技術活用による人的価値の創出～

坂本 優海（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS5-5 献血推進部門の将来像～10年後の献血者を育てる投資～

月田 昌美（北海道赤十字血液センター）

WS5-6 採血部門の将来像～安定した血液確保と働きやすさの両立を目指して～

蠣崎 優佳（北海道赤十字血液センター）

WS5-7 供給部門の将来像～人が定着し育つための育成環境の整備～

松本 芳輝（北海道赤十字血液センター）

WS6

ワークショップ 6

第1日目：10月6日（火）16：20～17：50 第5会場

将来の献血につなげる親と子供たちへのアプローチ～未来へ広げる命のバトン～

座長：早川 和男（熊本県赤十字血液センター）

佐野美紗子（日本赤十字社血液事業本部）

WS6-1 小学生向け献血セミナーの改善について（科学館献血セミナーとサイエンスパークの取り組み）

野中 慎也（北海道赤十字血液センター）

WS6-2 あの日の小学生が、いま献血者に―「献血まるわかりゼミ」20年の検証―

大東 雄一（奈良県赤十字血液センター）

WS6-3 子どもが学べるまねって体験：キッズ献血でつなぐ命のバトン―「知らない」を「やってみたい」へ―

大谷 茜（神奈川県赤十字血液センター）

WS6-4 次世代への献血理解促進に向けた体験型啓発の取り組み

中村 秀徳（日本赤十字社血液事業本部）

WS7

ワークショップ 7

第2日目：10月7日（水）10：00～11：40 第6会場

患者のための輸血検査～医療機関からの期待と将来像～

座長：伊藤 正一（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

生田 克哉（北海道赤十字血液センター）

WS7-1 血液センターに求められる依頼検査の質的向上

宮崎 孔（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

WS7-2 北海道ブロック血液センターにおける医療機関からの依頼検査の現状と課題

北崎 英晃（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS7-3 近畿ブロック血液センターにおける医療機関からの依頼検査の現状と課題

石井 博之（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS7-4 医療機関から血液センターに望むこと

加藤 栄史（福友病院介護医療院 / 愛知医科大学）

WS8

ワークショップ 8

第2日目：10月7日（水）15：30～16：30 第1会場

未来をつなぐ声 高校生が語る血液事業の可能性

座長：大田 貴敏（北海道赤十字血液センター）

土田 幸司（北海道赤十字血液センター）

WS8-1 高校生の視点から考える献血啓発～SNSを活用した情報発信の試み～

谷藤ひなた（市立札幌開成中等教育学校）

堀 遊（市立札幌開成中等教育学校）

柴山 朋花（市立札幌開成中等教育学校）

WS8-2 高校に献血バスを！—高校生がつくる献血のきっかけ—

福永 埜乃（札幌龍谷学園高等学校）

坪井 彩恵（札幌龍谷学園高等学校）

WS8-3 若年層献血者増加に向けた高校生による啓発活動の取り組み

上村 雫月（札幌創成高等学校）

川上美優花（札幌創成高等学校）

近藤 結（札幌創成高等学校）

WS9

ワークショップ 9

第2日目：10月7日（水）15：30～17：10 第6会場

血液事業研究の現在地とその先―“いい研究”を“使われる技術”へ―

座長：保井 一太（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）
若本志乃舞（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS9-1 生体模倣システムを使用した新たな血球細胞評価
瀧崎 晶弘（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS9-2 赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の作製―現況と今後の展望―
大嶋 教子（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

WS9-3 加熱全血を鋳型とした TaqMan-PCR による簡便かつ迅速な HPA タイピング
宮城 徹（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

WS9-4 TRALI 関連検査の課題解決に向けた技術開発と今後の展望
鎌田 裕美（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

WS9-5 血小板抗体検査用パネル細胞の開発
林 智也（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS10

ワークショップ 10

第3日目：10月8日（木）9：00～10：40 第6会場

次世代へつなぐ、血液センター製造部門の取り組み

座長：遠藤 嘉浩（日本赤十字社血液事業本部）
八代 進（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

WS10-1 血液センター製造部門における課題と対応
佐藤えりか（日本赤十字社血液事業本部）

WS10-2 今後の自動化設備について
下垣 一成（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS10-3 製造部門における人材育成～考える人の育て方～
梅田 浩介（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS10-4 トヨタ生産方式を参考にした製造現場における改善活動
山田 裕貴（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

WS11

ワークショップ 11

第3日目：10月8日（木）10：10～11：40 第5会場

データドリブンプロジェクト第3報

座長：小林原太郎（日本赤十字社血液事業本部）

WS11-1 初回献血で中止になった人のその後の動向

松橋 佳希（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

WS11-2 成分献血率向上に向けた献血者像の分析

小野寺聡子（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

WS11-3 茨城県赤十字血液センターにおける LINE 公式アカウントデータ活用の検討について

上原 亮（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

山田 龍彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

WS11-4 東海北陸ブロックにおけるデータドリブン報告—複数回献血者の確保に向けて—

阿部 聡史（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

WS11-5 平日の献血者確保に向けた離脱献血者の復帰傾向分析

桑田 聖平（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

WS11-6 固定施設での献血経験有無による献血定着率について

上本かなこ（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

WS11-7 献血者の継続確保に向けた課題整理（若年層・高齢層）

古賀あずさ（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

＜共催セミナー＞

共催セミナー 1

第1日目：10月6日（火）12：00～13：00 第1会場

共催：アボットジャパン合同会社

パルボ B19 感染事例とスクリーニング戦略～ B19 から学んだこと～

演者：坂田 秀勝（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

座長：笹原 洋二（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

共催セミナー 2

第1日目：10月6日（火）12：00～13：00 第3会場

共催：ナガセダイアグノスティックス株式会社

富士フィルム和光純薬株式会社

ダイアベティスケアの最新動向とグリコアルブミンの臨床的意義

演者：矢部 大介（京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学 / 京都大学医学部附属病院）

座長：生田 克哉（北海道赤十字血液センター）

共催セミナー 3

第1日目：10月6日（火）12：00～13：00 第4会場

共催：株式会社ジェイ・エム・エス

新興・再興感染症の世界的な発生動向と献血血液の安全性確保に向けて

演者：関 洋平（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター 第一室）

座長：平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

共催セミナー 4

第1日目：10月6日（火）12：00～13：00 第5会場

共催：KMバイオロジクス株式会社

一般社団法人 日本血液製剤機構

変わりゆく血友病治療と変わらない血漿分画製剤の重要性—先天性血友病・後天性血友病・その他類縁疾患—

演者：近澤 悠志（東京医科大学臨床検査医学分野）

座長：山本 晃士（愛知県赤十字血液センター）

共催セミナー 5

第1日目：10月6日（火）12：00～13：00 第6会場

共催：バイオメリュー・ジャパン株式会社

血小板製剤の細菌スクリーニングで検出される細菌：特徴と解析例

演者：漆原 範子（札幌医科大学医学部社会医学講座衛生学分野）

座長：松本 真実（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催セミナー 6

第2日目：10月7日（水）12：00～13：00 第1会場

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

献血者マネジメントの海外事例と血清学スクリーニングの最新知見

演者：Florina Pessl（Clinical Development & Medical Affairs, Roche Diagnostics GmbH）

座長：森下 勝哉（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催セミナー 7

第2日目：10月7日（水）12：00～13：00 第2会場

共催：グリフォルス株式会社

血液製剤の安全性確保と JIHS 感染研

演者：野島 清子（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所次世代生物学的製剤研究センター）

座長：坂田 秀勝（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

共催セミナー 8

第2日目：10月7日（水）12：00～13：00 第4会場

共催：テルモ BCT 株式会社

アカデミアのものづくり～北大病院における再生医療等製品の製造と品質管理

演者：加畑 馨（北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構再生医療センター）

座長：木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

共催セミナー 9

第2日目：10月7日（水）12：00～13：00 第5会場

共催：SB カワスミ株式会社

自動認識で支える、採血から供給までの安全とトレーサビリティを目指して

演者：溝部 修一（サトーヘルスケア株式会社）

座長：奥田 誠（日本赤十字社血液事業本部）

共催セミナー 10

第2日目：10月7日（水）12：00～13：00 第6会場

共催：ヘモネティクスジャパン合同会社

グローバルにおける血漿採取の最新動向と血漿採取装置ネクサスの活用戦略

演者：Jan Hartmann（Haemonetics corporation）

座長：牧野 茂義（東京都赤十字血液センター）

共催セミナー 11

第3日目：10月8日（木）10：40～11：40 第4会場

共催：シスメックス株式会社

肝炎 Elimination と輸血医療—肝疾患診療の進歩とその先へ—

演者：朝比奈靖浩（東京科学大学大学院医歯学総合研究科消化器病体学講座肝臓病態制御学担当）

座長：谷 慶彦（日本赤十字社血液事業本部）

<一般演題>

献血 1

第1日目：10月6日（火）9：10～10：00 第5会場

藤原 敦（東京都赤十字血液センター）

O-001 血液を使う病院から、献血を支える病院へ—継続開催で実現した200名規模院内献血会—

JR 東京総合病院臨床検査科

朝倉信之介 山根 舞

JR 東京総合病院看護部

河田 裕子 高橋 愛未 薄井 彩

橋口 友恵

JR 東京総合病院血液・腫瘍内科

奥田 慎也

O-002 企業における献血推進の取り組みとその効果

テルモ株式会社

高本 真里 河村絵里香 玉手 順子

テルモ BCT 株式会社

伊藤 遥香 片倉亜紀恵 船越 浩之

藤崎 照幸

O-003 明治安田との献血推進活動について

岩手県赤十字血液センター

川上 寛正

O-004 日本で唯一のラッコ達と呼ぶ、初めて献血～“キラ”めく命をつなぐ赤十字の使“メイ”のお手伝い～

三重県赤十字血液センター

田中こころ 杉本明日香 松井 伸之

竹内 久規 市川 浩行 松原 年生

O-005 小説「成瀬あかり」シリーズとのキャンペーンについて

滋賀県赤十字血液センター

有蘭 玲子 石井 裕子 黒田 智義

小林 弘典 石原 聡人 中河 敦夫

黒岡 要輔 川崎 秀二 杉江 琢史

塘 賢二郎

献血2

第1日目：10月6日（火）10：10～11：00 第5会場

永井 正一（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-006 O型全血献血を常時強化する

日本赤十字社九州ブロック血液センター

松崎 浩史 櫛木 健治 永井 正一

木原紗耶香 松浦 武志 坂本 恭子

古賀あずさ 松山 未来

福岡県赤十字血液センター

高尾 征義

O-007 献血者からの問い合わせが増加しているその背景にあるもの

宮城県赤十字血液センター

佐々木香代子 佐藤奈穂子 鈴木 聡

O-008 30歳代献血再来者からみた初回献血年齢の重要性—19歳が鍵となる理由—

日本赤十字社中四国ブロック血液センター

大内 菜央 八木 克敏 丹下 将希

常盤 和也 大多和慎吾 上本かなこ

増岡 里美 廣江 善男 門屋 純一

仲 香 篠田 達仁 細川 和浩

小林 正夫 芦田 隆司

日本赤十字社血液事業本部

細川 和浩

O-009 大阪・関西万博から日常へ脈々と続く赤十字運動としての献血

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

若田 朋子 原田 滉大 四元明日人

濱田 雅俊 宇都宮 進 細井 正弘

木村 貴文

O-010 自治会連携による献血推進体制の構築—地域コミュニティを活用した新規会場展開と既存会場への波及効果—

神奈川県赤十字血液センター

馬場 海人 塙 雄介 藤澤 高基

齋藤 哉 加藤 英明 菊池 裕之

大久保理恵

献血3

第1日目：10月6日（火）11：00～11：50 第7会場

濱田 雅俊（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

O-011 移動採血の各会場に応じた SNS 広告の有用性～インスタグラムで来場促進を図る～

福岡県赤十字血液センター

高巢 猶哉	坂下 卓也	松下 哲也
緒方 毅史	塚本 良司	横山 慶一
市山 公紀	福田 成秀	熊川みどり

O-012 東京都赤十字血液センター内各施設の統一した広報施策の実施について

—ワーキンググループ取り組み3—

東京都赤十字血液センター

八代 尚子	本田 史奈	小岩井里美
小林 花菜	児玉 あみ	佐藤 桜花
永岡 愛望	三影 麻由	三ツ木梨那
山田 葉奈	川俣 眞綾	薄井 香織
池澤 美貴	小林 美南	花島 桜
稲村 靖彦	中川 美和	澤村 佳宏
牧野 茂義		
鹿野 千治		

日本赤十字社血液事業本部

O-013 インスタグラムを活用した献血ルーム認知度向上と若年層への献血啓発効果の検証

兵庫県赤十字血液センター

平尾 郁	高倉 大樹	山下 豊幸
上岡 浩	島 扶美	

O-014 いのちのパスプロジェクト～ SNS を活用した新たな献血者層の確保を目指して～

大阪府赤十字血液センター

坂口 友理	森山 真希	田中 達也
磯田 知材	大石多加夫	池田 超
植田 宏和	坂本 靖之	柏木 浩和
平山 文也		
國和 昌浩		

日本赤十字社大阪府支部

O-015 移動採血における渉外業務の DX 化への取り組み～献血情報等のデジタル化による業務の見える化と適正化～

熊本県赤十字血液センター

片岡 昌哉	森 隆昭	大塚 瞬
松村 涼	杉谷 南美	宮原 暢
仁田尾正高	早川 和男	米村 雄士

献血4

第1日目：10月6日（火）14：10～15：00 第6会場

山田 真哉（愛媛県赤十字血液センター）

O-016 子育て世代の献血者確保を目指して

宮崎県赤十字血液センター

竹本 智春	古賀 諒	藤田 真心
有馬 仁美	赤星 梨月	永友 堯瞬
竹田 幸徳	染矢 香代	鈴木 斎王

O-017 大通献血ルームにおける若年層献血者確保の取り組み

北海道赤十字血液センター

松倉 あゆ	國分 英明	向野 弘人
藤塚 静香	大田 貴敏	武川 俊明
生田 克哉	木下 透	

O-018 下通り献血ルームにおける平日の献血者確保に向けた取り組み

熊本県赤十字血液センター

金森 美咲	今村 勇太	緒方多輝子
野田 紗綾	原口真由香	浦田 佳穂
徳永ひろみ	甲斐 志帆	池松 愛子
中田 理美	村上亜梨沙	池上 沙希
吉浦 麗奈	岩根 一己	早川 和男
米村 雄士		

O-019 学域における出張予約ブース展開について（若年層を固定施設へ誘導）

高知県赤十字血液センター

松木 清司	小野 卓二	島崎 貴子
上岡 敏美	羽方奈帆子	谷崎 光広
田埜 和利		

O-020 固定施設における初回献血者の動向と複数回献血への課題

広島県赤十字血液センター

松本 佳子	渡部 厚	阿部 優人
平木 美帆	新宮 涼花	川口 泉
竹中 美則	坂井 晃	

献血5

第1日目：10月6日（火）14：50～15：50 第7会場

中村 俊治（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

O-021 若年層献血普及の取り組み『おしごと体験 in イオンモール久御山』

京都府赤十字血液センター

柴山 梨花

O-022 メディメッセージ参加による、未来の献血者への普及啓発

静岡県赤十字血液センター

藤森有莉加	牧野 栞	中村 隼人
海野 桂子	北村 淳也	北折健次郎

O-023 高校献血を起点とした複数回献血者育成の取組

和歌山県赤十字血液センター

田中 淳史	勝間 智紀	國和 大翔
吉川 早苗	中山 傑太	北川 裕基
廣海 敦詞	西山 和人	目時 宏明
岡畑 拓男	中出 佳秀	井上 元

O-024 自由な発想を活かした10代初回献血者確保の新たなアプローチ「放課後けんけつ倶楽部」

広島県赤十字血液センター

渡部 聖子	高田 洋輔	川岡 友輝
徳永 有香	坂之上宏幸	住岡田和美
川口 泉	竹中 美則	坂井 晃

O-025 沖縄県内の中高生による献血推進活動の取り組み協力と効果について

沖縄県赤十字血液センター

照屋 栄樹	富吉 健	仲本 正嗣
宮城 俊幸	百名 伸之	

O-026 未来へつづく献血の輪～将来の献血者確保のために～

東京都赤十字血液センター

長谷川雅寛	津田 真弓	坪井 裕太
本田 史奈	高橋亜由美	奥田 秀貴
海野 浩子	弓田 大輔	田角 麻
花井 昭典	澤村 佳宏	牧野 茂義

献血6

第1日目：10月6日（火）16：00～16：50 第4会場

岩間 徹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

O-027 市内移動採血車未配車事業所へのPR活動について

北海道赤十字血液センター

及川 亘	藤村 英彰	高谷 隆次
花井 徳一	佐藤 範之	山本 清二
木下 透		

O-028 みんなで為せば成る！東京都内全12献血ルームで取り組んだ周辺地域に向けた献血推進活動

東京都赤十字血液センター

辻岡 聖子 村山 晃史 中村 陽次
 今澤沙奈美 藤間 里実 小岩井里美
 原川いつ香 吉田 直子 市原 治子
 城下 咲子 奥田 秀貴 児玉 拓二
 本間 力哉 稲村 靖彦 富成 和貴
 澤村 佳宏 牧野 茂義

日本赤十字社血液事業本部

鹿野 千治

O-029 東北ブロック管内の高校献血における初回献血者の継続傾向について

宮城県赤十字血液センター

後藤 琢也

日本赤十字社東北ブロック血液センター

鈴木 太貴 中村 俊治 青木 利昭
 柴崎 至

O-030 若年層の献血者確保と外国出身者の受け入れについて～学内ライオンズクラブとの協働～

宮崎県赤十字血液センター

永友 堯瞬 古賀 諒 藤田 真心
 有馬 仁美 赤星 梨月 竹田 幸徳
 染矢 香代 鈴木 斎王

O-031 献血協力者アンケート調査から見る、大学学内献血の特徴と献血推進サークルの活動が与える影響

広島大学医学部医学科

高砂 優羽

広島大学薬学部薬学科

長井 優那

広島大学大学院医系科学研究科疫学・疾病制御学

杉山 文 秋田 智之 福岡 真悟

田中 純子

日本赤十字社中四国ブロック血液センター

八木 克敏 仲 香 小林 正夫

献血7

第1日目：10月6日（火）17：00～18：00 第4会場

加藤 賢一（山形県赤十字血液センター）

O-032 血小板採血における分割率向上及び採血計画達成への取り組み

大分県赤十字血液センター

清末 友莉 江藤 大輔 工藤 大祐
 木本 正美 中村 誠 光成 大
 金田 幸司

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

杉山 朋邦

O-033 「全血献血から成分献血」への誘導～成分献血者増加へ向けての看護師の取り組み～

福島県赤十字血液センター

上羽由希子

渡辺美紀子

佐藤 直美

大内 幸子

鈴木 香織

加藤 千穂

齋藤 拓朗

O-034 採血看護師による若年層献血推進に向けたパンフレット作成と活用

沖縄県赤十字血液センター

栗國 朝治

O-035 長崎県の実献血者の動向（成分献血 PC、PPP）－ 2019 ～ 2025 年度－

長崎県赤十字血液センター

藤本 大樹

山下 隆司

大櫛なつき

日数谷昭則

井福 明

小寺 健次

橋口 周文

藤本 良夫

柴田 良仁

O-036 長崎県における全血・成分献血のダブル献血者動向－ 2019 ～ 2025 年度－

長崎県赤十字血液センター

藤本 大樹

山下 隆司

大櫛なつき

日数谷昭則

井福 明

小寺 健次

橋口 周文

藤本 良夫

柴田 良仁

O-037 月 1,000 本以上の採血を目指して～献血ルームくらつきの取り組み～

石川県赤十字血液センター

北 直也

近吉史奈子

岡田 珠恵

小坂 紘子

神野 静帆

本多 佑香

谷口 愛佳

白澤 葵優

堀江 千草

中嶋 善幸

安村 敏

献血 8

第 2 日目：10 月 7 日（水）9：00～9：50 第 5 会場

廣江 善男（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

O-038 移動採血における積極的な水分補給による VVR 発生率低下と採血効率向上の検証

和歌山県赤十字血液センター

吉川 早苗

勝間 智紀

中山 傑太

北川 裕基

田中 淳史

廣海 敦詞

西山 和人

目時 宏明

岡畑 拓男

中出 佳秀

井上 元

O-039 現場が動き出す仕組みづくり—総務課起点で広がった改善連鎖の実践事例—

大分県赤十字血液センター	島田 知実	沙藤 秀典	高橋 一貴
	河野 裕樹	光成 大	金田 幸司
大分赤十字病院	高橋 真弓		
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	杉山 朋邦		

O-040 その入力、本当に打つ必要ありますか？—バーコード活用の提案—

三重県赤十字血液センター	鳥居 拓也	櫻井 雄太	堀代 達矢
	松井 伸之	竹内 久規	市川 浩行
	松原 年生		

O-041 可搬式充電設備を使用した献血会場の暑熱対策

千葉県赤十字血液センター	伊藤 優祐	森田 拓人	中山 翠
	新井 友也	永井 孝典	村田 淳
	稲垣 智治	大橋 恵次	伊藤 基之
	井内 貴也	奥山 美樹	
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所	曾篠 恭裕	津田 直人	

O-042 移動採血車における採血体制の見直しによる効率化と職場環境改善

石川県赤十字血液センター	谷内 光	吉田 史絵	加藤 昌宏
	安村 敏		

献血9

第2日目：10月7日（水）10：00～10：50 第5会場

岩根 一己（熊本県赤十字血液センター）

O-043 献血におけるステークホルダーは誰なのか～採血前後で向き合うための取り組み～

宮崎県赤十字血液センター	児玉 智恵	荻原 裕史	前田 宏美
	染矢 香代	鈴木 斎王	

O-044 学術担当者による医療系学生を対象とした献血啓発について

香川県赤十字血液センター	蓮井 彬	石井 博喜	小河 敏伸
	伊藤 博史	中西 義徳	細谷 淳
	井出 眞		

O-045 60代前半の献血血液確保対策『シルバーハガキキャンペーン』の実施—ワーキンググループの取り組み2—

東京都赤十字血液センター

八代 尚子	本田 史奈	小岩井里美
小林 花菜	児玉 あみ	佐藤 桜花
永岡 愛望	三影 麻由	三ツ木梨那
山田 葉奈	川俣 眞綾	薄井 香織
池澤 美貴	小林 美南	花島 桜
藤原 敦	中川 美和	澤村 佳宏
牧野 茂義		
鹿野 千治		

日本赤十字社血液事業本部

O-046 学校への渉外活動を通じた若年層献血普及への取り組み

兵庫県赤十字血液センター

花田 美優

O-047 意識を変えて血漿を増やす！～スタッフ参画による献血者教育の強化～

長野県赤十字血液センター

綿貫 愛	神林 絢菜	笹岡 紀子
松村 武	矢澤 剛	飴谷 進一
石田 文宏		

献血 10

第2日目：10月7日（水）11：00～11：50 第5会場

池田 超（大阪府赤十字血液センター）

O-048 kintoneを使用した渉外記録簿用アプリによる業務変革の取り組みについて

秋田県赤十字血液センター

今野 大樹	山内 和雄	伊藤 陽介
桐越 崇行	齋藤 貴仁	高橋 聡
松田 明	吉田 裕之	面川 進
田村 真通		

O-049 献血現場における「答えられない」をなくす—血液事業理解向上に向けた課内研修の実践—

三重県赤十字血液センター

櫻井 雄太	鳥居 拓也	松井 伸之
今井 重美	竹内 久規	市川 浩行
松原 年生		

O-050 受付業務実践シミュレーターシステムの開発

神奈川県赤十字血液センター

蔭山 智彦	高山 美郎	菊池 裕之
三根 芳文	大久保理恵	

O-051 (運転担当者向け) 移動採血車取扱説明書の作成

愛知県赤十字血液センター

伊藤 諒

O-052 地域センターにおける認定インタビュアーの活動の模索について

三重県赤十字血液センター

堀代 達矢 杉本明日香 大西 啓太

堀 百合子 井村真由美 竹内 久規

市川 浩行 松原 年生

献血 11

第2日目: 10月7日(水) 16:30 ~ 17:30 第4会場

伊藤 博史(香川県赤十字血液センター)

O-053 年層における献血理解促進を目指したセミナーの改善と実施拡大の効果

大分県赤十字血液センター

村上 侑奈 志賀章太郎 久恒 潔

大木 優人 川野 祥吾 光成 大

金田 幸司

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

杉山 朋邦

O-054 学域での献血セミナー等の拡大～献血実施を伴わない普及啓発～

神奈川県赤十字血液センター

小笠原 聡 平田 菜野 大村 加織

藤澤 高基 塙 雄介 加藤 英明

西川 正樹 菊池 裕之 三根 芳文

大久保理恵

O-055 若年層献血者確保に向けた中学生への献血周知と高校における献血セミナーの実施について

山梨県赤十字血液センター

中村 有希 網野 広貴 村上 勇也

小林 弘樹 込山茉那美 手塚 直樹

渡邊 美紀 織田 貴之 川手 華与

糸魚川真悟 保坂 恭子

O-056 初回若年層献血者の確保を目的とした献血セミナー講師向け資料の作成及び活用

愛知県赤十字血液センター

齊藤 千晃 北村 英之 草野 隼毅

O-057 Lock-on ! 未来の献血者・血液製剤ユーザー献血推進課とMRの協働による医療専攻高校生への献血教育—

鳥取県赤十字血液センター

森 唯	山下 将澄	安本 孝則
小林久美子	尾崎 竜太	前田 真由
森安 龍一	安木 弘成	竹内 茂徳
縄田 隆浩		

O-058 献血からケン活へ〜宮城県赤十字血液センターの試み〜

宮城県赤十字血液センター

庄子いくみ	山火 祐	高橋 亜希
上妻 功治	本山 裕太	木村 康一
脇谷 勇次	鈴木 聡	

献血 12

第3日目：10月8日（木）9：00～9：50 第5会場

大江 優貴（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

O-059 日本・タイ医学生が学ぶ「災害時の輸血医療体制」：医学生による国際交流プログラムでの教育実践

東京慈恵会医科大学医学部医学科

野間 葵	鋪屋 瑠美	佐野 華子
戸部 薫	齋藤 里奈	

アジア医学生連絡協議会日本支部（Asian Medical Students' Association Japan: AMSA Japan）

野間 葵	佐野 華子	戸部 薫
齋藤 里奈		

Central Blood Transfusion Services of the Indonesian Red Cross

Nova Hippy

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

津野 寛和

東京慈恵会医科大学附属病院輸血・細胞治療部

佐藤 智彦

O-060 医学生主体の国際交流に献血・血液事業の学びを組み込む意義の検討

東京慈恵会医科大学医学部医学科

戸部 薫	野間 葵	齋藤 里奈
鋪屋 瑠美	佐野 華子	大原 千佳
冠城 佳奈		

アジア医学生連絡協議会日本支部（Asian Medical Students' Association Japan: AMSA Japan）

戸部 薫	野間 葵	齋藤 里奈
佐野 華子	大原 千佳	冠城 佳奈

Central Blood Transfusion Services of the Indonesian Red Cross

Nova Hippy

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

津野 寛和

東京慈恵会医科大学附属病院輸血・細胞治療部

佐藤 智彦

O-061 日本・タイ医学生による災害時の輸血医療体制に関する小グループ討議の分析：国際交流プログラムでの実践

東京慈恵会医科大学医学部医学科	佐野 華子	野間 葵	鋪屋 瑠美
	戸部 薫	齋藤 里奈	
アジア医学生連絡協議会日本支部 (Asian Medical Students' Association Japan: AMSA Japan)	佐野 華子	野間 葵	戸部 薫
	齋藤 里奈		
Central Blood Transfusion Services of the Indonesian Red Cross	Nova Hippy		
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	津野 寛和		
東京慈恵会医科大学附属病院輸血・細胞治療部	佐藤 智彦		

O-062 在留外国人を「新たな担い手」とした献血推進の実践—ベトナム人団体「TAM VIET」との連携事例—
愛知県赤十字血液センター

菊地 京介	野村 哲郎	丸山 友紀
永田 順人	篠原 賢二	伊藤 康人
近田 秀之	水野 晴久	大田 貴広
山本 晃士		

O-063 外国の方及び障がいのある方の献血受入体制について —ワーキンググループの取り組み1—

東京都赤十字血液センター	本田 史奈	八代 尚子	小岩井里美
	小林 花菜	児玉 あみ	佐藤 桜花
	永岡 愛望	三影 麻由	三ツ木梨那
	山田 葉奈	川俣 眞綾	薄井 香織
	池澤 美貴	小林 美南	花島 桜
	難波 寛子	中川 美和	澤村 佳宏
	牧野 茂義		
日本赤十字社血液事業本部	鹿野 千治		

採血 1

第1日目：10月6日（火）13：10～14：00 第3会場

澤田 知美（大阪府赤十字血液センター）

O-064 アフェレーシスナースによる VVR 転倒防止の取り組み—多職種連携を取り入れたシミュレーションの効果—

愛知県赤十字血液センター	戸松 夏子	大橋 玲奈	土門 幸代
	東村 洋子	相澤 峰子	水野 晴久
	小野 知子	山本 晃士	

O-065 高校生の献血文化を守る取り組み

栃木県赤十字血液センター

轟 洋怜	塩山 朋乃	溝口 良子
佛川 理香	渡邊 暁子	海老原千恵
八巻 朋子	山崎みどり	平野 裕明
渡辺 進	永井 正	
西川 温子		

神奈川県赤十字血液センター

O-066 初回献血者に向けた動画を使ったアプローチ

宮崎県赤十字血液センター

日高 支保	三根久美子	染矢 香代
鈴木 斎王		

O-067 フルフラットポジション de あなたの健康守ります

神奈川県赤十字血液センター

吉田 直美	木暮 秀哉	曾我ひとみ
根本真理子	三根 芳文	大久保理恵

O-068 献血直前の塩分摂取による遅発性血管迷走神経反応の予防効果

東京都赤十字血液センター

難波 寛子	近藤 学	橋爪 龍磨
山内 美江	矢野 典子	池田 洋子
中川 美和	青木 毅一	澤村 佳宏
牧野 茂義		
日本赤十字社血液事業本部	石丸 文彦	鹿野 千治
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	加川 敬子	

採血2

第1日目：10月6日（火）14：10～15：00 第3会場

田頭真利江（広島県赤十字血液センター）

O-069 採血副作用発生時における受診支援体制構築への取り組み—地域連携室を活用した円滑な医療連携体制の確立—

秋田県赤十字血液センター

高橋美紀子	菊地 晴子	横山 夕子
大山由香子	山手 昌子	吉田 齊
寺田 亨	吉田 裕之	面川 進
田村 真通		

O-070 献血ルームの環境が血管迷走神経反応の発生に及ぼす影響

東京都赤十字血液センター

橋爪 龍磨	近藤 学	高木 啓輔
本間 力哉	桑野 秋江	池田 洋子
矢野 典子	難波 寛子	中川 美和
青木 毅一	澤村 佳宏	牧野 茂義
日本赤十字社血液事業本部	石丸 文彦	

O-071 血管迷走神経反応（VVR）予防に有効な水分摂取量の検討～早見表を用いた看護介入～

埼玉県赤十字血液センター

西谷祐三子	村田 陽子	小林 啓一
吉田 裕二	中川晃一郎	

O-072 高校献血での VVR 予防に向けたポスターについてのアンケートを用いた意識調査

山梨県赤十字血液センター

堀内 智樹	橋本 笑子	松本 結衣
小森 明奈	増田 淳子	野村 由紀
石川美佐子	網野 広貴	村上 勇也
中村 有希	松本 真帆	藤田しのぶ
名取小百合	織田 貴之	川手 華与
佐野 弥生	糸魚川真悟	保坂 恭子

O-073 遅発性 VVR 発生低減に向けた当施設の取り組み

静岡県赤十字血液センター

渡邊 彩乃

採血3

第1日目：10月6日（火）15：10～16：00 第3会場

土門 幸代（愛知県赤十字血液センター）

O-074 資材室の最適化！～身体に優しいレイアウトで疲労軽減と資材管理効率化の実現～

北海道赤十字血液センター

猪股 千紗	池田 朱里	前田 未来
笹田 誠子	齋藤ゆめか	佐野 千寿
三瓶亜矢子	長野和歌子	佐藤 範之
山本 清二	木下 透	

O-075 出張採血における資材管理及び運搬業務の効率化を目指した取り組み

大阪府赤十字血液センター

本庄さおり	高辻 礼子	川上 悦子
犬塚 裕章	山田 葉子	成田利恵子
坂本 靖之	柏木 浩和	平山 文也

O-076 夏季における移動採血車内の温熱環境調査

三重県赤十字血液センター

石野 幸子	森中 美喜	川森 鈴恵
牧野 文香	堀 百合子	前川 好美
大桑 幸恵	市川 浩行	松原 年生

O-077 移動採血の稼働を円滑にする試み

京都府赤十字血液センター

高巢 洋子	山本眞希子	高乗 裕子
山本 純子	若松 万喜	西垣 知美
浜崎裕美子	辻田 千博	宮脇 剛
芦原 英司		

O-078 看護師の越境応援がもたらした改革と未来への展開～献血者の安全確保のための職場づくりを目指して～

京都府赤十字血液センター

浜崎裕美子	高巢 洋子	若松 万喜
山本眞希子	高乗 裕子	西垣 知美
辻田 千博	宮脇 剛	芦原 英司

採血4

第1日目：10月6日（火）16：00～17：00 第7会場

岡本 悦子（兵庫県赤十字血液センター）

O-079 インシデントの低減に向けての取り組み—ヒューマンエラーから起こるインシデントの分析—

茨城県赤十字血液センター

柴沼 郁子	飛田由香里	須貝由美子
飯田英利子	小林 由深	菊池 恵司
瀧野 伸幸	長谷川雄一	

O-080 装着ミスによる成分採血キットの減損をゼロにする取り組み

佐賀県赤十字血液センター

眞崎佐智子	北島 美紅	林 菜美子
廣田 聡	廣畑 和代	鷹野 誠
日本赤十字社佐賀県支部	原 香織	

O-081 人的確認を要する業務における確認行為の在り方～検体・原料血液引渡し業務のダブルチェック体制の検討～

福岡県赤十字血液センター

瓜生まりこ	石綿 信子	松永 裕子
山田 真子	三上 真実	渡邊 郁子
松藤かおる	板木 純子	土橋 陽子
市山 公紀	福田 成秀	熊川みどり

O-082 採血現場における適切な口頭報告のあり方の検討

広島県赤十字血液センター

岡田 真衣	田頭真利江	川口 敦子
福部 純子	川口 泉	竹中 美則
坂井 晃		

O-083 海から3kmの献血ルーム！～災害発生時、迷わず行動するために～

神奈川県赤十字血液センター

久保寺真琴	松村 富美	下川しのぶ
根本真理子	三根 芳文	大久保理恵

O-084 移動採血車内における一次救命処置方法の検討と取り組み

山形県赤十字血液センター

大西 遥	石山 美香	布川 千紘
星 美由紀	丹野 由貴	佐藤千代美
金田 麻子	川合 靖子	狩野 健
林 健一		

採血5

第2日目：10月7日（水）9：00～9：50 第4会場

安東 浩恵（大分県赤十字血液センター）

O-085 成分献血者を増やす取り組み（全血から成分へ）

青森県赤十字血液センター

大川 綾子	櫻庭 典子	蒔苗真由美
山本 愛佳	工藤 紋子	小笠原磨未
上田奈緒美	鳴海 敦浩	石川 光康
葛西 幹雄		

O-086 固定施設における成分献血者数増加への取り組み～献血推進部門との連携強化による成分献血者数増加～

香川県赤十字血液センター

白川由加子	池田 香里	有澤 由美
牧山 佳代	石井 博喜	中西 義徳
細谷 淳	井出 眞	

O-087 「一度きり」を「一生モノ」へー若年層を動かした『つなげよう献血』カードの活用法ー

愛知県赤十字血液センター

嶋津 沙羅	栗原香寿実	大橋 玲奈
西 亜矢子	仁科 範久	田爪 珠子
小野 知子	水野 晴久	山本 晃士

O-088 全血献血ヘモグロビン不足による不採血献血者へのフォローアップ

北海道赤十字血液センター

川村 真由	池本 智香	松本美由紀
向野 弘人	藤塚 静香	鈴木 晶子
荒木あゆみ	生田 克哉	木下 透
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	算用子裕美	

O-089 すべての献血者に“伝わる”安心と安全を—外国人献血者に向けた説明用パネルの作成—

神奈川県赤十字血液センター

鍋倉 陽子

下川しのぶ

根本真理子

三根 芳文

大久保理恵

採血6

第2日目：10月7日（水）10：00～10：50 第4会場

青柳季代子（東京都赤十字血液センター）

O-090 無症候性貧血の献血希望者を治療につなげる取り組み 診療情報提供書による医療機関受診の勧め

宮城県赤十字血液センター

佐藤奈穂子

佐々木香代子

鈴木 聡

O-091 成分献血における最低気温とVVR発生の関連：5都道県7地域における多施設後ろ向き観察研究

奈良県赤十字血液センター

中川 智裕

嶋 裕子

北岸 祥行

長野 一昭

大橋 功明

西久保敏也

奈良県立医科大学法医学教室

櫻井 嘉彦

神奈川県赤十字血液センター

大久保理恵

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

津野 寛和

東京都赤十字血液センター

青木 毅一

北海道赤十字血液センター

生田 克哉

O-092 交感神経緊張亢進（過緊張）を起因とする転倒を伴うVVR（血管迷走神経反応）

和歌山県赤十字血液センター

下垣内裕以

岡野 彩

中村 マキ

辻 万喜

岡畑 拓男

中出 佳秀

井上 元

O-093 献血人生のしまい方を考える～長きに亘るご協力に感謝を伝えたい～

神奈川県赤十字血液センター

下川しのぶ

吉田 綾子

根本真理子

三根 芳文

大久保理恵

O-094 献血者健康被害救済制度の理解を深めるために～事例から見る問題点～

千葉県赤十字血液センター

松本 和美

中村 優子

大竹 真央

坂本 妙

稲垣 智治

井内 貴也

奥山 美樹

採血7

第2日目：10月7日（水）11：00～11：50 第4会場

吉田 史絵（石川県赤十字血液センター）

O-095 新人看護師定着支援に向けた教育体制の現状評価と改善策の検討

兵庫県赤十字血液センター

市岡 三奈 安田 真弓 塩見 萌
古家ひろみ 岡本 悦子 上岡 浩
島 扶美

O-096 東京都センターにおける新卒看護師、育成への取り組み

東京都赤十字血液センター

本山 健 薄井 香織 小山 奈苗
佐々木宏美 池田 洋子 中川 美和
澤村 佳宏 牧野 茂義

O-097 採血の達人を目指して～穿刺技術向上のための取り組み～

神奈川県赤十字血液センター

田中 律子 稲田 貴子 杉野 晃美
西川 温子 嶋津 歩 本城 陽子
斎藤 孝之 根本真理子 大久保理恵

O-098 二次元コードの導入による統一した新人教育をめざして（県内共通ツールの作成の取り組み）

静岡県赤十字血液センター

牧田真樹子 伊藤安理沙 山岡友紀恵
小原 記世 石垣 久美 中野 有華
西田 隆恵 簗持 俊洋 北村 淳也
北折健次郎

O-099 教育動画を用いた初回健診医指導の質的改善と標準化～医務課の業務負担軽減を含めて～

福井県赤十字血液センター

清水 帆奈 土田 真生 松井ひとみ
齊藤 雄一 木村 秀樹

採血8

第2日目：10月7日（水）15：30～16：30 第5会場

松尾 美鈴（長崎県赤十字血液センター）

O-100 全血献血から成分献血への移行促進施策の検証

栃木県赤十字血液センター

佐藤 美季 古澤 美幸 八巻 朋子
小杉 誠 檜葉 真弓 山崎みどり
金井 大作 渡辺 進 永井 正

O-101 献血会場における聴覚障害者への対応改善の取り組み

岡山県赤十字血液センター

高見 正恵	犬飼 佐代	森 由美
奥 裕美	青井あゆみ	小島 麻美
福山 博美	嘉本 俊子	栗坂智映子
芦田久美子	小川峰津江	内田 紋子
美崎 辰徳	牧野 志保	松本喜久代
古谷野 智	櫻井 聡	竹内 誠

O-102 親子でつなぐ献血の未来—親子で学ぶ社会貢献活動—

北海道赤十字血液センター

阿部 綾子	松井 智美	久保山真理子
中原 美絵	後藤 由紀	鈴木 晶子
荒木あゆみ	生田 克哉	木下 透

O-103 初回献血者の不安軽減を目的とした体験型ハイブリッドセミナーの有用性

兵庫県赤十字血液センター

竹原 風音	河嶋 沙耶	岡本 悦子
上岡 浩	島 扶美	

O-104 採血課でできる推進活動～MKSCを活用してNTAGをめざそう～

北海道赤十字血液センター

境原久美子	村田久美子	小島かおり
柴田 欣子	星村ゆきえ	西田 志保
櫻井未来子	土田 幸司	木下 透

O-105 不採血低減に向けた採血部門の取り組み

大阪府赤十字血液センター

川上 悦子	高辻 礼子	犬塚 裕章
山田 葉子	成田利恵子	坂本 靖之
柏木 浩和	平山 文也	

採血9

第2日目：10月7日（水）16：40～17：40 第5会場

中村真喜子（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

O-106 細菌スクリーニング導入後の東海北陸ブロックにおける血小板採血への影響

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

村瀬 寿美	堀江千都子	岩間 徹
丹羽 雅子	中村 定生	八代 進
鈴木 英夫	鬼頭 勇一	木下 朝博
愛知県赤十字血液センター	水野 晴久	

O-107 血小板採取管理における予測値と実測値の乖離幅を管理指標とした九州ブロックの取り組み

日本赤十字社九州ブロック血液センター

坂本 恭子 鬼塚めぐみ 北菌 愛
永井 正一 櫛木 健治 松崎 浩史

O-108 看護師の応援派遣をきっかけとした採血現場の安全管理と接遇意識の変容について

奈良県赤十字血液センター

峯垣内千香 菅野和加子 松木 崇
達谷美江子 大橋 功明 西久保敏也

O-109 採血課スタッフの時間外労働削減への取り組み

大分県赤十字血液センター

中村さおり 安部 香織 余田 愛子
馬場 淑香 安東 浩恵 光成 大
金田 幸司

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

杉山 朋邦

O-110 血色素測定の実向上プログラム～血色素測定を効率的かつ的確に実施し、コスト削減を目指す取り組み～

栃木県赤十字血液センター

溝口 良子 塩山 朋乃 轟 洋怜
西山 由美 直井 匡代 渡邊 暁子
海老原千恵 八巻 朋子 山崎みどり
平野 裕明 渡辺 進 永井 正
西川 温子

神奈川県赤十字血液センター

O-111 献血者の想いを無駄にしない為に私達ができる事～穿刺後不採血減少に対する取り組み～

北海道赤十字血液センター

齋藤ゆめか 宮田 美幸 徳升 真美
畠山 巴奈 佐野 千寿 三瓶亜矢子
長野和歌子 佐藤 範之 山本 清二
木下 透

採血 10

第3日目：10月8日（木）10：50～11：50 第6会場

山手 昌子（秋田県赤十字血液センター）

O-112 分割血小板採血数増加に向けた機種選択と単位設定の検討

石川県赤十字血液センター

久保 智春 南 陽子 前川 愛花
高本さつき 北川 紗雪 岡田 りか
中江 里香 吉田 史絵 釜親 直己
中嶋 善幸 安村 敏

O-113 東京都赤十字血液センターにおける原料血漿確保に向けた一施策

東京都赤十字血液センター

木ノ内智子	氏家 亜子	迫田由紀子
加子 優子	青柳季代子	矢野 典子
中川 美和	澤村 佳宏	牧野 茂義

O-114 CCS におけるボウルリンス最終転送限定 ON 設定の検討～同時採取血漿量確保へ向けて～

千葉県赤十字血液センター

吉村 聖子	山口亜希子	小島小希子
大森 敦子	石黒 早苗	坂本 妙
奥山 美樹		

O-115 血漿採取量増加に向けた取り組み報告：スタッフの意識共有による成果

茨城県赤十字血液センター

石塚笑美子

O-116 血小板採取目標単位数を確保するための取り組み～献血推進課と採血課の連携～

北海道赤十字血液センター

前川 恵	沼倉 祐香	中原 美絵
鈴木 晶子	後藤 由紀	荒木あゆみ
生田 克哉	木下 透	
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	算用子裕美	

O-117 男性血小板非分割採血における余剰血漿を最大量採取する試み～スタッフへの継続した意識づけの工夫～

茨城県赤十字血液センター

竹垣 由香	栗又 彩乃	佐藤こずえ
岩瀬美千代	小林 由深	後藤 繁
菊池 恵司	瀧野 伸幸	長谷川雄一

検査 1

第 1 日目：10 月 6 日（火）11：00～11：50 第 4 会場

鳥居 紀宏（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

O-118 PK7400 のオモテ検査で希釈抗 B と弱陽性を呈する AB 型献血者の解析

日本赤十字社東北ブロック血液センター

伊藤 正一	荻山 佳子	加賀屋美佳
川島 航	笹原 洋二	
日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	伊佐 和美	宮崎 孔

O-119 PK7400 における A_x 検出の課題と改善に向けた検討

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

神戸 考裕	松田 充俊	林 澄江
作田 暁香	藤坂 盛次	小野寺由美
金井 雅利	岡崎 仁	

O-120 献血者における CD99 低発現者リストの作成

日本赤十字社九州ブロック血液センター	田中 翔	野本 和花	平安山睦美
	熊本 誠	猿渡 真理	松崎 浩史
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	常山 初江	大河内直子	

O-121 抗 KANNO を中和する可溶性リコンビナント KANNO 抗原作製

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	飛田隆太郎	永沼 真一	西岡 純子
	小野寺孝行	岡崎 仁	
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	北崎 英晃		

O-122 近畿ブロック管内における Mi (a+) 献血者の分布 (第2報)

日本赤十字社近畿ブロック血液センター	小田 晃	亀山 恵子	仁木真紀子
	井上 広子	石井 博之	木村 貴文

検査 2

第1日目: 10月6日(火) 13:10 ~ 13:50 第7会場

小野寺孝行 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

O-123 細菌スクリーニング導入後の血液型検査体制の最適化に向けた取り組み

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	杉浦佑実子	小路明日香	近藤 秋乃
	竹内奈由美	鳥居 紀宏	中村 定生
	鬼頭 勇一	木下 朝博	

O-124 抗血小板抗体検査の陽性率及び需給調整件数の推移と供給への影響について

日本赤十字社九州ブロック血液センター	植村 一道	藤本 量	大津 侑加
	津曲 摩希	関口 捺美	廣田 日和
	平安山睦美	猿渡 真理	松崎 浩史

O-125 Power Automate Desktop を用いた PC-HLA 交差適合試験事務作業の業務改善

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	杉浦 良樹	岡村 篤史	藤原 真紀
	坂 尚樹	金柁 麻衣	大島 幸司
	鳥居 紀宏	古橋 津芳	中村 定生
	鬼頭 勇一	木下 朝博	

O-126 抗原陰性血試薬の安定供給を目的とした培養方法の検討

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	平子奈緒美	飛田隆太郎	田中 千冬
	永守 拓哉	杉山 美和	西岡 純子
	小野寺孝行	岡崎 仁	

検査3

第1日目：10月6日（火）14：00～14：40 第7会場**小野寺由美（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）**

O-127 自動血球計数器 XN-1000 で使用するコントロール血液の室温保存による測定値への影響

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

村上 加奈 木下 朝博 鬼頭 勇一

中村 定生 野畑 智樹 鈴木 忠明

O-128 生化学検査キャリブレーション結果確認方法の検討

日本赤十字社九州ブロック血液センター

齊藤 楓 中村 仁美 吉田 幸明

篠崎 隆平 山崎 久義 猿渡 真理

松崎 浩史

O-129 中四国 BBC における梅毒追加検査（RPR 法）で生じるプロゾーン現象の実態調査

日本赤十字社中四国ブロック血液センター

渡邊 由芽 浅井 春香 川尻なぎさ

岡田 千波 鈴木佳寿美 栗木原修治

芦田 隆司

O-130 梅毒脂質抗体検査（RPR 法）で発生するプロゾーン現象の対策

日本赤十字社九州ブロック血液センター

松下 文香 吉田 幸明 篠崎 隆平

山崎 久義 猿渡 真理 松崎 浩史

検査4

第2日目：10月7日（水）9：00～9：50 第6会場**平田 康司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）**

O-131 近畿ブロック血液センターにおける血小板製剤細菌スクリーニング検査導入後の運用と評価

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

犬伏 祐人 濱田 芳輝 河野 薫

八田 玲 稲葉 洋行 石井 博之

木村 貴文

O-132 細菌スクリーニング検査導入後のヒューマンエラーへの取り組み

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

佐藤 詩子 長橋 静香 北村 勇武

松村久美子 五十嵐寛幸 澤村 佳宏

岡崎 仁

O-133 血小板製剤バッグからの MALDI-TOF MS による直接菌種同定法の検討

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	藤森 麻衣	鈴木 周朔	小堺 萌
	高橋 秀行	田中 亜美	松本 真実
	坂田 秀勝	宮田 茂樹	

O-134 MALDI-TOF MS による細菌同定困難例に対する 16S rRNA 遺伝子解析の有用性評価

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	田中 亜美	小堺 萌	松本 真実
	坂田 秀勝	宮田 茂樹	

O-135 血小板製剤および当該献血者由来 *Staphylococcus aureus* における PFGE バンド差異の全ゲノム解析による解明

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	小堺 萌	松本 真実	坂田 秀勝
	宮田 茂樹		

検査 5

第2日目：10月7日（水）15：30～16：20 第4会場

山崎 久義（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-136 HIV-1/2 抗体スクリーニング陽性、追加検査陰性時の再検査判断基準の検討

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	小林 悠	岸本 信一	鹿野 徳憲
	森下 勝哉	鳥本 悦宏	
北海道赤十字血液センター	生田 克哉		

O-137 埼玉製造所における梅毒及び NAT 通知対象項目のスクリーニング検査陽性数と通知数の乖離

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	新開ひな子	花田 梨恵	中村 舞
	石川 礼子	加藤 尚美	小野寺由美
	金井 雅利	岡崎 仁	

O-138 北海道における HEV NAT スクリーニング再検陰性率上昇の原因調査

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	飯田 樹里	飛澤 里奈	松林 圭二
	森下 勝哉	鳥本 悦宏	
日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	坂田 秀勝		
北海道赤十字血液センター	生田 克哉		

O-139 HBV 陽性献血者における HDV 感染状況と分子疫学的解析

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	澤井 裕美	安藤菜穂子	高倉 明子
	松本 真実	坂田 秀勝	宮田 茂樹

O-140 cobas omniUtility Channel を用いた HTLV-1/2 全自動 PCR 検査法の構築

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	蕎麦田理英子	加茂 功行	坂田 秀勝
	宮田 茂樹		
日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	山本 加奈		

品質保証 1

第2日目：10月7日（水）10：00～10：40 第8会場

松村久美子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

O-141 石川—愛知製造所間の検体搬送遅延時における2～8℃維持手順の検証

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	寺西 環海	木下 朝博	鬼頭 勇一
	中村 定生	野畑 智樹	迫 アリサ

O-142 東海北陸ブロック血液センターにおけるスキルマップ運用の現状

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	長濱佐恵子	三輪 泉	圓藤ルリ子
	中村 定生	鬼頭 勇一	木下 朝博

O-143 クオリティカルチャー醸成度評価ツールを用いた品質文化の現状把握と課題抽出

日本赤十字社東北ブロック血液センター	鈴木 涼	及川 伸治	川島 航
	笹原 洋二	柴崎 至	

O-144 九州ブロック血液センターにおける教育訓練と人材育成の現状と課題

日本赤十字社九州ブロック血液センター	刀根 勇一	吉村 崇	高石 英美
	猿渡 真理	松崎 浩史	

品質保証 2

第2日目：10月7日（水）10：50～11：30 第8会場

佐藤 勇人（山形県赤十字血液センター）

O-145 長期温度監視記録の年次解析による血液製剤保管機器の性能維持評価

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	野畑 智樹	中村 定生	鬼頭 勇一
	木下 朝博		

O-146 品質情報の見える化による現場に届く品質リスク予防の取り組み

沖縄県赤十字血液センター	島袋 桜	赤嶺 廣幸	久場美和子
	宮城 俊幸	百名 伸之	

- O-147 逸脱事例のデータベース化による血液安全委員会への情報提供と、現場からの正確な報告体制への取り組み
長野県赤十字血液センター

掛川 昌徳 小林 治夫 宮澤 智志
中澤伸太郎 館谷 進一 石田 文宏

- O-148 山形センターにおける参加型手法を用いた「基本理念」「私たちの目標」「品質方針」の意識醸成への取り組み

山形県赤十字血液センター

佐藤 勇人 長井菜美恵 狩野 健
金光 桂子 林 健一

製造 1

第2日目：10月7日（水）15：30～16：20 第7会場

佐々木 大（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

- O-149 不必要な包装袋の交換を減らす改善活動

日本赤十字社九州ブロック血液センター

田中 千絵 小嶋 瑠香 大野 徹也
遊畑 貴志 松崎 浩史

- O-150 屋外昆虫に対する薬剤散布の効果

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

飯田 美咲 近藤 規夫 仲川 寛斎
塙 菜々 佐藤かおり 高尾 昭有
井口 勇太 小原 久美 小野寺由美
埼玉県赤十字血液センター 池澤 貴子

- O-151 血液製剤製造業務における録画データの遡及的活用と逸脱対応への有用性

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

大橋 佳奈 三浦 一輝 西 勝洋
山田八千代 小島 直樹 八代 進
鬼頭 勇一 木下 朝博

- O-152 様式レイアウト改善における記録精度の向上と作業効率化

日本赤十字社九州ブロック血液センター

服部 将也 大藤 有未 田川 隼冬
大野 徹也 遊畑 貴志 松崎 浩史

- O-153 無人搬送台車（AGV）の更新

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

伊藤 綾人 筒井 貴之 仲川 寛斎
塙 菜々 佐藤かおり

製造 2

第 2 日目 : 10 月 7 日 (水) 16 : 30 ~ 17 : 20 第 7 会場

佐藤 かつり (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

O-154 PC-LRBS 製剤の凝集塊発生と検体採取量適正化の対策とその効果について

日本赤十字社東北ブロック血液センター

佐藤 優里奈 鈴木 蓮王 中島 晶子
佐藤 和人 佐々木 大 笹原 洋二

O-155 細菌スクリーニング製剤導入後の凝集塊による減損率の推移

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

内藤 聡子 新井加奈子 谷山 定司
五十嵐寛幸 澤村 佳宏 岡崎 仁

O-156 濃厚血小板血漿における凝集塊発生抑制に向けた取り組み

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

加藤 静帆 若森 康佑 渡部 真喜
広村 佳子 神谷 信輝 泉 篤史
八代 進 鬼頭 勇一 安村 敏
木下 朝博
石川県赤十字血液センター 安村 敏

O-157 諸外国で導入が進んでいる血液自動製剤システム Reveos のユーザビリティ評価

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

千葉 萌加 築舘 奏 高柳 啓吾
賀波澤宗隆 内藤 祐 梅田 浩介
秋野 光明 鳥本 悦宏

O-158 XN-1000 のアルゴリズム調整に係る PLT 測定値の比較

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

佐藤 宝 梅田 浩介 秋野 光明
鳥本 悦宏

製造 3

第 3 日目 : 10 月 8 日 (木) 10 : 50 ~ 11 : 40 第 8 会場

遊畑 貴志 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

O-159 血液製剤製造と輸血医療現場をつなぐ施設見学研修

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

渡部 真喜 由田美奈子 加藤 静帆
森 知美 広村 佳子 神谷 信輝
泉 篤史 八代 進 鬼頭 勇一
安村 敏 木下 朝博
石川県赤十字血液センター 安村 敏

O-160 日本血液製剤機構千歳工場との相互交流

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

樋口 敏生 梅田 浩介 秋野 光明
森下 勝哉 鳥本 悦宏

O-161 採血特記（白除対象外）の採血装置エラー No. 等の実態調査と白血球数試験結果の関係性について

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

木村 航大 三浦 一輝 山田八千代
小島 直樹 八代 進 鬼頭 勇一
木下 朝博

O-162 インシデント事例の逸脱管理への変更

日本赤十字社東北ブロック血液センター

京仲 実結 鈴木 蓮王 三浦 正光
田村 智子 佐々木 大 笹原 洋二

O-163 血漿分画製剤用原料血漿搬送中に発生した送付コンテナ転倒事例とその対応

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

若森 康佑 加藤 静帆 広村 佳子
神谷 信輝 泉 篤史 八代 進
中村 定生 鬼頭 勇一 安村 敏
木下 朝博

石川県赤十字血液センター

与坂 武久 安村 敏

愛知県赤十字血液センター

近田 秀之

日本赤十字社血液事業本部

鈴木 昌祐

造血幹細胞 1

第1日目：10月6日（火）15：10～15：50 第6会場

松山 宣樹（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

O-164 造血幹細胞移植支援システム（医療機関支援機能）導入後の患者登録および移植実施状況について

日本赤十字社血液事業本部

岡部 周平 前田伊規子 古館 賢一
東 史啓 石丸 文彦 遠藤 嘉浩
石丸 健

O-165 臍帯血移植に伴う輸注時副反応及びドナー由来疾患の発生状況

日本赤十字社血液事業本部

土居 慧郎 市原 孝浩 橋本 志歩
東 史啓 石丸 文彦 遠藤 嘉浩
石丸 健

O-166 妊婦および乳児の母を対象とした臍帯血バンク見学会—対話でつながるバンクを目指して—

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

松本 涼花	内藤 友紀	布施 久恵
増子 和尚	秋野 光明	鳥本 悦宏

O-167 臍帯血バンク広報用ショート動画の制作と活用

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

内藤 友紀	松本 涼花	秋野 光明
鳥本 悦宏		

造血幹細胞 2

第 1 日目：10 月 6 日（火）17：10～17：50 第 7 会場

宮本 彰（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-168 臍帯血バンク作業エリアの空調更新工事に伴う業務継続の対応

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

山本 法子	宮城 徹	山田 直弥
宮本 律子	金井 美知	小野寺孝行
宇都木和幸	岡崎 仁	

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

宮田 茂樹

O-169 採取施設との連携による原料臍帯血の品質向上に向けた継続的改善活動

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

内藤 友紀	増子 和尚	布施 久恵
酒井 智昭	松本 涼花	秋野 光明
鳥本 悦宏		

医療法人育愛会札幌東豊病院

向井なつ美	森元 茜	五十嵐雪枝
黒木 勝円		

O-170 移植に用いられる臍帯血の細胞数分布とバンクにおける保存基準変更の検討

日本赤十字社血液事業本部

鹿本 直也	橋本 志歩	東 史啓
石丸 文彦	遠藤 嘉浩	石丸 健

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

秋野 光明

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

宮城 徹

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

松山 宣樹

日本赤十字社九州ブロック血液センター

宮本 彰

O-171 自動血球分析装置による臍帯血 CD34 陽性細胞数迅速予測法の検討

日本赤十字社近畿ブロック血液センター	入江 利子	林 智也	松山 宣樹
	石井 博之	下垣 一成	瀧原 義宏
	木村 貴文		
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	内藤 友紀	増子 和尚	布施 久恵
	酒井 智昭	秋野 光明	
日本赤十字社血液事業本部 Sysmex 株式会社	市原 孝浩	東 史啓	石丸 文彦
	安達 枝里	中澤 文恵	岩崎 陽介

研究開発 1

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 9 : 10 ~ 9 : 50 第 7 会場

森山 哲 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

O-172 凍結乾燥血漿の海外動向と品質特性に関する基礎的検討

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	内藤 祐	若本志乃舞	秋野 光明
	鳥本 悦宏		

O-173 使用済み白除フィルター由来 platelet lysate で増幅した骨髄由来間葉系幹細胞培養上清のプロテオーム解析

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	加藤 志歩	若本志乃舞	秋野 光明
	鳥本 悦宏		
北海道大学大学院医学研究院脳神経外科	古川 友子	川堀 真人	
熊本大学大学院生命科学研究部微生物薬学分野	大槻 純男		

O-174 臍帯由来間葉系幹細胞を使用した使用済み白除フィルター由来 platelet lysate の有用性評価

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	後藤 早紀	若本志乃舞	加藤 志歩
	秋野 光明	鳥本 悦宏	

O-175 臍帯血 CD34⁺ 細胞の血管内皮細胞への接着能評価のための検査法開発

日本赤十字社近畿ブロック血液センター	正木美香子	三橋 久子	瀧崎 晶弘
	保井 一太	下垣 一成	瀧原 義宏
	木村 貴文		
神戸医療産業都市推進機構脳循環代謝研究部	小川 優子	田口 明彦	

研究開発2

第1日目：10月6日（火）11：10～11：50 第6会場

荒木 威（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

O-176 遺伝子検査を用いた「まれな血液型」のスクリーニング

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

伊佐 和美

佐々木佳奈

宮崎 孔

宮田 茂樹

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

大河内直子

O-177 血小板輸血の適応判断に必要な小児期血小板減少症に対する包括的検査体制の提唱

日本赤十字社東北ブロック血液センター

笹原 洋二

東北大学病院小児科

笹原 洋二

佐藤 大地

片山紗乙莉

O-178 肝機能検査不適PCに代わる研究用試料としての血小板数測定検体プールの検討

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

高野 恵

平山 順一

若本志乃舞

秋野 光明

鳥本 悦宏

O-179 LEDを光源としたUVC照射による血液製剤のウイルス不活化

日本血液製剤機構研究開発本部中央研究所

塘 知子

瀬川 和也

片山 宰

小野 達貴

浦山 健

供給1

第1日目：10月6日（火）9：10～9：50 第4会場

小砂子 智（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

O-180 もうさ、AIでいいじゃん、供給予測とか

長野県赤十字血液センター

関 史行

清水 誠

渡辺 健二

中澤伸太郎

飴谷 進一

石田 文宏

O-181 カーナビは納品場所まで教えてくれない

岡山県赤十字血液センター

長崎 真子

逸見 良子

國米 修平

影山 雅一

鈴木 輝一

石原 大介

藤原奈津実

児嶋 智美

内藤 一憲

櫻井 聡

竹内 誠

O-182 配送者の動態管理システム導入に関する検討

愛知県赤十字血液センター

鳥居 絵美

西田 秀紀

水野 航

中村 慶

水野 晴久

山本 晃士

O-183 Excel VBA を供給部門の業務へ活用した事例

石川県赤十字血液センター

栗下 拓巳 石川 範子 神野 克也

勝田 侑里 本田 智一 服部 拓海

由田 和宏 中嶋 善幸 安村 敏

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

北村 弥生 安村 敏

供給2

第1日目：10月6日（火）10：00～10：40 第4会場

神崎 隆一（神奈川県赤十字血液センター）

O-184 細菌スクリーニング導入下における血小板供給最適化戦略—予約率向上による複数製造所分配環境下の取り組み

兵庫県赤十字血液センター

太田恵利花 山中偉久子 西村 嘉郎

野口 洋介 岸田 誠 小島正太郎

加藤 義人 上岡 浩 島 扶美

O-185 東北ブロックにおける細菌スクリーニング導入後の洗浄血小板製剤安定供給に向けた取り組み

日本赤十字社東北ブロック血液センター

今野 未来 齋藤 愛弓 川下 健一

小砂子 智 青木 利昭 笹原 洋二

O-186 細菌スクリーニング導入後の血小板製剤のスワーリングの影響について

東京都赤十字血液センター

水野 素江 山崎 敦史 大城戸秀樹

富成 和貴 澤村 佳宏 牧野 茂義

O-187 外装包装膨張を呈しガス発生が疑われたが、無菌試験陰性であった血小板製剤の1症例

大阪府赤十字血液センター

古谷 至 池田 通代 泉谷 晋作

池田 超 植田 宏和 坂本 靖之

柏木 浩和 平山 文也

日本赤十字社近畿ブロック血液センター

齋藤 隆夫 大橋 祥朗

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

松本 真実 坂田 秀勝

供給3

第1日目：10月6日（火）11：10～11：50 第5会場

内藤 一憲（岡山県赤十字血液センター）

O-188 梱包資材（RCC コンスター）の冷却条件について

日本赤十字社東北ブロック血液センター

横川 達也	古茂田真幸	佐藤 克洋
川下 健一	今野 未来	小砂子 智
青木 利昭	笹原 洋二	

O-189 廃棄サイクルを考慮した二次保管の再編—保管期間別レイアウトの導入—

長野県赤十字血液センター

星野 悠	石尾千恵美	掛川 昌徳
小林 治夫	矢島あゆ美	齊藤 克広
飴谷 進一	石田 文宏	

O-190 令和6年能登半島地震前後における富山県及び石川県被災医療機関への輸血用血液製剤供給状況

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

富山県赤十字血液センター

石川県赤十字血液センター

北村 弥生	安村 敏	木下 朝博
諏訪 恵子	池口 有	
栗下 拓巳	石川 範子	安村 敏

O-191 供給部門における各血液センターの報告業務簡素化に向けた本部通知等の見直しについて

日本赤十字社血液事業本部

日本赤十字社東北ブロック血液センター

佐藤 桂花	宇野 祥規	西村 太一
沼川 真葵	八角 朋典	早川 慎一
三木 健史	上村 和哉	鶴間 和幸
今野 未来		

供給4

第1日目：10月6日（火）16：10～17：00 第3会場

佐藤万規子（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

O-192 供給管理システムの導入による効果と課題

公益財団法人献血供給事業団

川野 拓	渡辺 隆之	記井 良仁
田原 良三		

O-193 バーコードスキャナ【MS916】を使用した納品時の照合確認について

大阪府赤十字血液センター

中田 正彦	泉谷 晋作	池田 超
植田 宏和	坂本 靖之	柏木 浩和
平山 文也		

O-194 みんなでつくる配送業務の安心安全

山形県赤十字血液センター

佐竹 翔平	花輪 賢吾	奥山 慧
黒田 優	狩野 健	金光 桂子
林 健一		

O-195 供給業務におけるレジリエンス・エンジニアリング SAFETY- II の実践

—安全理論とリーダーの Paradigm Shift—

山形県赤十字血液センター

黒田 優	三浦 幸恵	花輪 賢吾
奥山 慧	佐竹 翔平	石井 尚子
林 健一		

O-196 供給業務における手順理解向上を目的とした動画教材活用の試み

兵庫県赤十字血液センター

大西 裕貴	村上 隆憲	有澤 宏臣
上岡 浩	島 扶美	

供給5

第1日目：10月6日（火）17：10～18：00 第3会場

三輪 泉（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

O-197 医療機関調書の一新および相互供給の実施による危機管理体制強化への取り組み

長野県赤十字血液センター

渡辺 健二	小林 樹生	松尾 智子
星野 悠	清水 誠	矢島あゆ美
関 史行	館谷 進一	石田 文宏
松山 雄一		

新潟県赤十字血液センター

O-198 医療機関における血液供給量の推移から血液の安定的かつ効率的供給を構築する

日本赤十字社東北ブロック血液センター

中川 國利	笹原 洋二	柴崎 至
-------	-------	------

O-199 血液センターの移転に伴い顕在化した一部医療機関の問題について

三重県赤十字血液センター

東地 宏将	今井 重美	佐脇 康平
稲垣 浩之	宮崎 浩輔	寺沼 稔晃
横家 信華	市川 浩行	松原 年生

O-200 SR 活動と MR 連携による安定供給の取り組み

京都府赤十字血液センター

外園 拓

O-201 供給部門と学術部門の連携強化による一体運用の構築とその効果

石川県赤十字血液センター

石川 範子 栗下 拓巳 服部 拓海

神野 克也 本田 智一 勝田 侑里

安村 敏

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

北村 弥生 安村 敏

供給6

第2日目：10月7日（水）9：00～10：20 第7会場

谷川 昌平（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

築館 和良（宮城県赤十字血液センター）

O-202 より安心安全に緊急走行が行える環境を整備する取り組み

茨城県赤十字血液センター

小俣 大輔 斉須 祐樹 大森 昇

上久保博貴 須貝 瑞穂 水戸 智美

中野 宏顕 山口 恭子 小堀 貴志

菊池 恵司 瀧野 伸幸 長谷川雄一

O-203 供給業務における緊急走行訓練の取り組みについて

熊本県赤十字血液センター

山田 祐生 野口 忠 寺本 文宏

児嶋 峰行 石原 正朗 西村真理子

早川 和男 米村 雄士

O-204 東京都内における輸血用血液製剤の緊急出動状況について—直近6年間の実態分析—

公益財団法人献血供給事業団

宮住 夏緒 千田 拓嗣 佐藤健太郎

根岸 隆也 田原 良三

O-205 運転支援システム（自動追尾機能）は血液製剤配送業務の安全運転に寄与するか

三重県赤十字血液センター

佐脇 康平 今井 重美 稲垣 浩之

宮崎 浩輔 東地 宏将 寺沼 稔晃

横家 信華 市川 浩行 松原 年生

O-206 交通事故ゼロを目指して

群馬県赤十字血液センター

平井 健之 木部 克江 新井 美絵

矢嶋 修 下田 達也 菅原 孝道

横濱 章彦

O-207 「DRIVE CHART」活用による安全意識向上の取り組み

神奈川県赤十字血液センター

小川 正則	吉田 杏子	久保川永一
小川 徹	皆川 裕介	矢沼 篤
藤井 基裕	神崎 隆一	和久井 薫
菊池 裕之	大久保理恵	

O-208 ドライブレコーダーを活用した職員の安全運転意識の更なる醸成を目指して

福岡県赤十字血液センター

福山 雄大	宮部 七星	櫻井 賢
川原 真吾	八田 咲希	柳内 大輝
井上 浩二	古田 秀利	横山 慶一
市山 公紀	福田 成秀	熊川みどり

O-209 血液センターにおける車両事故防止を目的とした安全運転意識向上への取り組み

福島県赤十字血液センター

加藤 雄介	渡邊 美奈	五十嵐 満
井村 健	堀川 次男	齋藤 拓朗

供給7

第2日目：10月7日（水）17：10～17：40 第3会場

小田 秀隆（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-210 赤血球1単位製剤の期限切れゼロ運用について

長崎県赤十字血液センター

山崎 大輔	高原 美優	林 巧巳
鹿屋 明里	橋本 翔	手島 貴也
上田 博	松永 章	井福 明
藤本 良夫	柴田 良仁	

O-211 1単位赤血球製剤有効活用への取り組み

宮崎県赤十字血液センター

日野 彩子	藤田 真心	大澤 遼
河野 絢香	井上 恭一	甲斐 圭剛
児玉 智恵	伊作 洋美	染矢 香代
鈴木 斎王		

O-212 赤血球液LR-2「日赤」の予約方法、確保依頼方法の是正について～二次照射ゼロを目指して～

大分県赤十字血液センター

重田かおり	本田 智之	森山 達夫
光成 大	金田 幸司	

学術情報 1

第 1 日目 : 10 月 6 日 (火) 10 : 00 ~ 10 : 30 第 7 会場

日野 郁生 (日本赤十字社血液事業本部)

O-213 マニュアル改訂に伴う副作用検体送付について (関東甲信越ブロック血液センターの事例)

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	清水 英恵	太田 茂	塩澤 達明
	長部 隆広	杉山 朋邦	岡崎 仁

O-214 ハプトグロビンおよび IgA 欠損患者の輸血副作用発生件数と欠損ドナー由来 FFP の供給状況

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	大河内直子	下山田高茂	石井 武志
	石野 大介	太田 茂	津野 寛和
	岡崎 仁		
日本赤十字社血液事業本部	日野 郁生		
日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	高橋 大輔		
北海道赤十字血液センター	武田 尋美		

O-215 抗血漿タンパク質抗体検査法における吸収試験導入の有効性

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所	穴沢 雅子	一杉 芽美	川崎 瑤子
	阿部 高秋	鎌田 裕美	高橋 大輔
	宮田 茂樹		

学術情報 2

第 2 日目 : 10 月 7 日 (水) 10 : 40 ~ 11 : 40 第 7 会場

太田 茂 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

O-216 Web を活用した医療機関向け輸血勉強会の 5 年間の 5 つの取り組み

東京都赤十字血液センター	今川 美果	山崎 敦史	大城戸秀樹
	富成 和貴	澤村 佳宏	牧野 茂義

O-217 高知県における輸血検査の質向上に向けた血液センター関与による研究会・技師会連携の取り組み

高知県赤十字血液センター	中山 千智	片岡 智	谷崎 光広
	田埜 和利		

O-218 血液センター事務局による研修会運営の実績と課題—富山県合同輸血療法委員会看護師部会の取り組み—

富山県赤十字血液センター	池口 有	奥多妃都美	諏訪 恵子
	宮田裕実子	桜井 剛	横川 博
富山県合同輸血療法委員会看護師部会	山本由加里		

O-219 血漿交換療法における新鮮凍結血漿（FFP）の使用実態調査

岐阜県赤十字血液センター

高井 真一	和田 美奈	志知 俊
山本 直人	大田 佳子	野村 昭雄
高橋 健		

O-220 院内輸血監査の実態と段階的導入の検討―血液センターによる横断的支援の試み―

秋田県赤十字血液センター

吉沢 靖子	渡邊 拓馬	加藤 晴夫
三浦 吉尚	寺田 亨	吉田 斉
吉田 裕之	面川 進	田村 真通

O-221 血漿分画製剤管理と周術期 PBM 支援～血液センター・病院薬剤師協調モデルの検討～

秋田県赤十字血液センター

吉田 斉	吉沢 靖子	寺田 亨
吉田 裕之	面川 進	田村 真通

秋田県合同輸血療法委員会

吉沢 靖子	寺田 亨	阿部 真
石井知佳沙	工藤佐智子	佐藤 郁恵
小塚 源儀	林崎久美子	道下 吉広
加賀谷 聡	奈良 美保	藤島 直仁
小笠原 仁	面川 進	田村 真通
石井知佳沙	佐藤 郁恵	奈良 美保
工藤佐智子	藤島 直仁	
小塚 源儀	小笠原 仁	
林崎久美子	加賀谷 聡	
道下 吉広		

秋田大学医学部附属病院

能代厚生医療センター

大館市立総合病院

平鹿総合病院

秋田厚生医療センター

学術情報 3

第3日目：10月8日（木）9：00～10：00 第3会場

北川 晋士（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

O-222 医療機関担当者としての取り組み

栃木県赤十字血液センター

石川 真美	亀井 涼香	添野 直幸
増田 浩司	永井 正	

O-223 医療機関担当者の学術知識レベル向上を目的とした、研修の必要性の確認と研修実施

日本赤十字社東北ブロック血液センター

福本 邦恵	佐藤 和人	及川 一美
青木 利昭	柴崎 至	笹原 洋二

O-224 供給部門職員育成研修における、医学的知識の基礎習得を目指して

日本赤十字社東北ブロック血液センター	福本 邦恵	佐藤 和人	及川 一美
	青木 利昭	柴崎 至	笹原 洋二

O-225 看護師資格を持つMRが目指す医療現場での多職種連携への関与

日本赤十字社北海道ブロック血液センター	前田 絵美	小島 聡	鳥本 悦宏
北海道赤十字血液センター	生田 克哉	木下 透	

O-226 輸血未経験の施設における在宅輸血実施に向けた血液センターMRの支援活動

福島県赤十字血液センター	長谷川 修	山口 美保	鹿又えみり
	渡辺 源貴	五十嵐 満	齋藤 拓朗

O-227 輸血に携わる臨床検査技師等を対象とした意見交換会の岡山県内供給エリア別開催の試み

岡山県赤十字血液センター	國米 修平	影山 雅一	逸見 良子
	鈴木 輝一	内藤 一憲	櫻井 聡
	竹内 誠		

管理運営 1

第1日目：10月6日（火）13：10～14：00 第6会場

門屋 純一（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

O-228 採血資材等の一時的な保管場所確保と関係法令遵守の取り組みー知識と知恵を活かしてー

日本赤十字社中四国ブロック血液センター	熊野 可苗	今井 雄大	中川 茜
	木村 壽男	岡村 弘子	八木 克敏
	篠田 達仁	芦田 隆司	

O-229 シェアサイクル導入で実現する業務用車両削減と通勤利便性の向上

京都府赤十字血液センター	林 俊成	谷口 雅紀	辻田 千博
	宮脇 剛	芦原 英司	

O-230 旅費規則改正に対応した旅行命令管理業務における現場DXの事例報告

沖縄県赤十字血液センター	藤 翔太	富吉 健	新里ユカリ
	宮城 俊幸	百名 伸之	

O-231 岡山赤十字フェスティバル開催に向けた円滑な企画運営に関する取り組みについて

岡山県赤十字血液センター	木村陽菜乃	芦田 幸稔	大塚 裕司
	古谷野 智	櫻井 聡	竹内 誠

O-232 日本赤十字社血液事業の損益分岐点分析

兵庫県立大学大学院経営専門職医療介護マネジメント 井出健二郎

管理運営2

第2日目：10月7日（水）9：00～9：50 第8会場

小山 洋一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

O-233 血液事業情報システム更新における動画マニュアル導入による業務負担軽減の検討

日本赤十字社血液事業本部	平野沙也加	金森 健	金井 慶一
	富沢 一浩		
日本赤十字社北海道ブロック血液センター	近藤 知		
群馬県赤十字血液センター	田島由香里		

O-234 「職員生き生き×組織生き生き」キャリア相談の実施について

日本赤十字社近畿ブロック血液センター	和田みなみ	前田 広大	落合 智美
	松井 聡	牛田 順子	木村 貴文

O-235 みなさまは、“人材育成”どうしていますか？

日本赤十字社中四国ブロック血液センター	栗木原修治	毛利 容子	間賀田隆秀
	鈴木佳寿美	芦田 隆司	

O-236 「“できない”を前提にしない職場づくり」～障害者雇用0名からの挑戦～

静岡県赤十字血液センター	新聞 朋子	北折健次郎	北村 淳也
	簀持 俊洋	海野 桂子	伊牟田智也
	須藤 綾乃	加藤 和彦	

O-237 医療系学生における血液センター見学研修の教育的効果の検討

石川県赤十字血液センター	石川 範子	栗下 拓巳	安村 敏
日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	北村 弥生	神谷 信輝	泉 篤史
	安村 敏		

管理運営 3

第3日目：10月8日（木）9：00～9：50 第8会場

前田 英紀（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

O-238 阪神・淡路大震災 30 年後における血液センター災害記録の再評価と継承の課題

兵庫県赤十字血液センター

牧野 茂樹 岡本 昇 上岡 浩
横田 孝訓 島 扶美

O-239 大雪時の交通遮断に対応した検体搬送体制の構築と運用事例

日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター

関口 涼介 田邊 篤人 北村 弥生
岩間 徹 安村 敏 木下 朝博

石川県赤十字血液センター

与坂 武久 安村 敏

愛知県赤十字血液センター

水野 晴久

O-240 「危機管理マニュアル」理解度向上・実効性強化プロジェクト

秋田県赤十字血液センター

齋藤 貴仁 高野 順平 伊藤 知香
渡邊 拓馬 堀井 和人 松田 明
田村 昭彦 面川 進 田村 真通

O-241 京都府赤十字血液センター京都駅前出張所における改善活動（危機管理）について

京都府赤十字血液センター

澤村 大 瓜生 知子 山本 純子
谷口 雅紀 辻田 千博 宮脇 剛
芦原 英司

O-242 施設内感染対策の取り組みについて（第1報）

岐阜県赤十字血液センター

縄田 英恵 小野木信太 後藤 稔滋
佐野太津也 江戸屋裕次 佐橋 昌邦
野村 昭雄 高橋 健

岐阜赤十字病院

宇野 太志

管理運営 4

第3日目：10月8日（木）10：00～10：40 第8会場

島宗 国和（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

O-243 血液事業における安全文化浸透に向けて

日本赤十字社血液事業本部

榎本 圭介 金井 慶一 茂木 聡幸
青木亜希子 大藤 亜耶 竹内 紗世
池上 正純 奥田 誠

O-244 インシデント増加を契機とした再発防止策の進捗管理強化と実効性向上への取り組み

兵庫県赤十字血液センター

河野 祐	西村 千恵	岡本 昇
上岡 浩	横田 考訓	島 扶美

O-245 全職員対象！ヒヤリハット入力訓練について～報告件数の増加を目指して～

愛媛県赤十字血液センター

松本 和浩	佐野万里子	成川 正道
徳田修太郎	羽藤 高明	薬師神芳洋

O-246 医療機関見学研修における製造所職員の働きがい向上と意識変化

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

藤城 直子	松下麻依子	高村 公子
小山 洋一	藤森 浩一	岡崎 仁

東京慈恵会医科大学附属病院輸血・細胞治療部

佐藤 智彦

慶應義塾大学病院輸血・細胞療法センター

山崎 理絵